とよなかの農道具

豊中市教育委員会

はじめに

豊中市は大阪平野の北西部に位置し、猪名川の流れと千里丘陵の緑という豊かな自然環境に包まれて、かつてはそこここに牧歌的な風景の広がるのどかな農村地域でした。しかし、そのような風景は、いわゆる高度経済成長にともなう急速な開発の中で失われていき、今日ではもはや過去のものとなりつつあります。

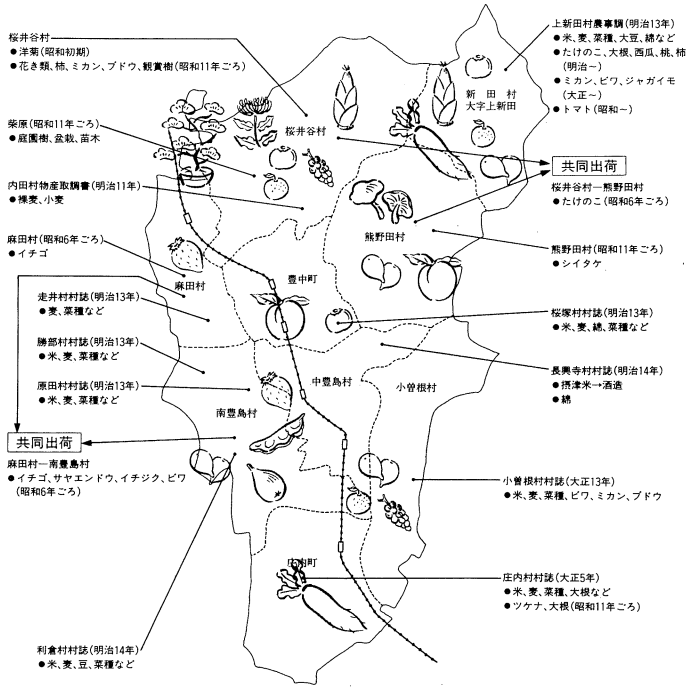
当市では、市民の方々のご協力を得て、市内で使用されていたさまざまな生活用具の収集と保存に努めてまいりました。それらの生活用具は、豊中の地に暮らしていた人々の生活のあり方を知るうえで、欠くことのできない貴重な資料であり、これを後世に伝えていくことは現代に生きる私たちの義務であると考えております。

本書は、これらの収集資料のうち、特に農業に関連したものを紹介するものです。ご協力いただきました方々に御礼申し上げるとともに、本書が、かつて農村地域であった郷土・豊中の生活について考えるきっかけになれば幸いと存じます。

平成八年（一九九六年）三月

豊中市教育委員会

教育長　青木　伊織



▲ 近代の農作物（『グラフとよなか』No.26　1990年　より）

例　言

1. 本書は、平成四年度より同七年度にわたって実施した豊中市教育委員会所蔵の民具の調査記録より、主に農具について報告するものである。ただし、地元の方々の保管によるものが一部含まれている。詳細は巻末の目録を参照願いたい。

2. 民具調査は、近藤雅樹氏（国立民族学博物館）の指導を仰ぎ、水口千里氏（日本民具学会）、吉田晶子氏（財団法人枚方市文化財研究調査会）、米田実氏（水口町歴史民俗資料館）のご協力のもとに豊中市教育委員会社会教育課が行なった。上新田地区の農事暦「米作りの一年」（2～5ページ）は、中尾七重氏（元・財団法人民家集落博物館）の調査成果を利用し、中尾氏に新たにイラストを作成していただいた。

3. 本書の執筆は、おおむね右の方々に分担していただいた。農具使用状況のイラストを香川雅信氏（大阪大学大学院）が担当した。執筆の分担については各文末を参照されたい。

4. 基礎資料となる民具の実測図の作製には、以下の方々に参加していただいた。

阿部彩子　天野太郎　井殿のぞみ　井上素子　井上早枝子　内田民枝
大本純子　荻田浩一　香川雅信　川村清志　黒瀬道子　近藤雅樹
高垣善信　武田和代　歳森真紀　中本剛二　藤内礼子　別所美幸
間處裕弥子　真鍋昌賢　水口千里　山本　一　吉田晶子　米田　実

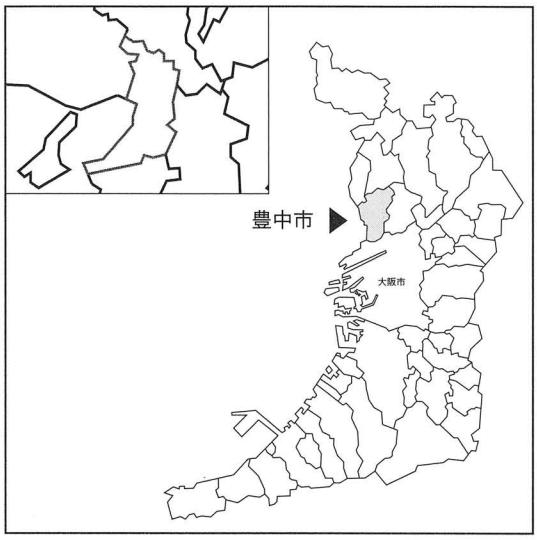
（敬称略）

5. 所収実測図には、実測者名の他、原則として個別台帳を元に資料名、採集地、材質を付記し、台帳等の記録がない部分については［　］内に記した。構成上実測図の縮尺が利用しにくいものとなったこと、乾拓採集作業等を別途行なったため、本書の作成にあたり補訂された部分があることを断っておく。

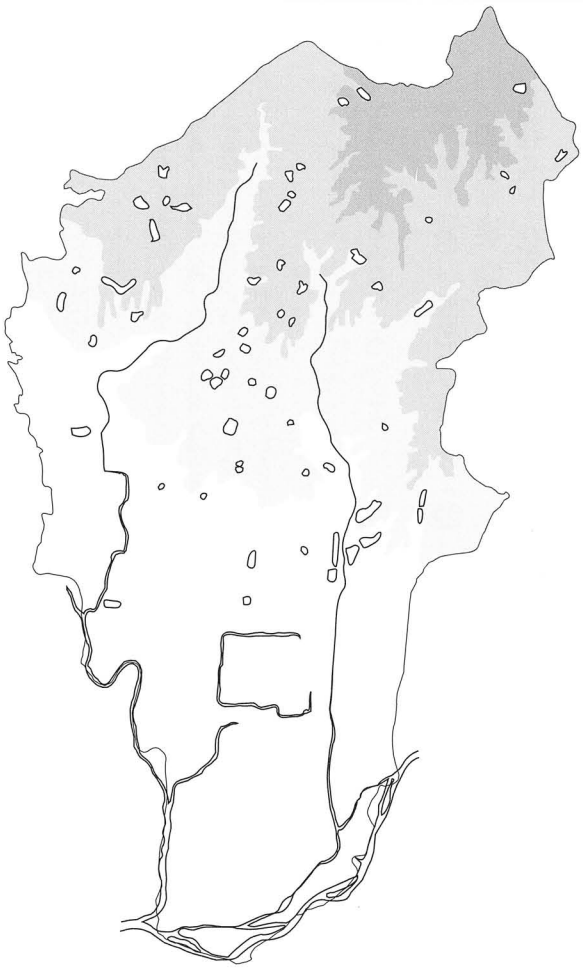
6. 本書の編集は、中村ひさ子（豊中市教育委員会社会教育課）が担当し、長畑京子がこれを補助した。一部の資料写真については、柳本照男（同社会教育課）が撮影した。

7. 市所蔵の民具は、すべて地元の方々のご寄贈によるものである。また、本書の作成にあたっては、現在も農業に従事しておられる方々に、お忙しいさ中にも関わらず快く時間を割いていただき、機械化が進む前の農作業について多くのことをご教示いただいた。記して感謝いたします。

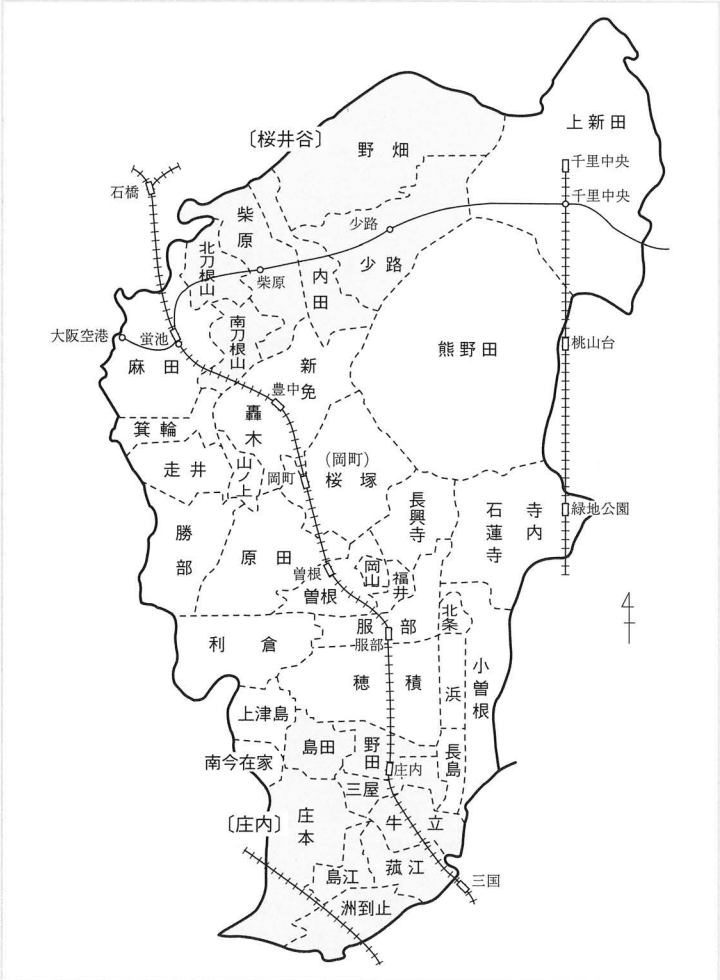
とよなかの環境



▲ とよなかの位置



▲ 地形図



▲ 近世村割図

※1　「近世村割図」は、明治18年～20年の陸軍参謀本部陸地測量部測図をもとに作成された、『豊中市史』第2巻（1959年）掲載の図（本文中3頁）をもとに、現在の鉄道の主要駅の位置を配したものである。

※2　地形図は同測図を参考に宅地開発以前の地形をおおまかに表した。

※3　本文中の地名表記のうち、「桜井谷（さくらいだに）」には左の「近世村割図」中の野畑（のばたけ）・少路（しょうじ）・内田（うちだ）・柴原（しばはら）・北刀根山（きたとねやま）・南刀根山（みなみとねやま）一帯を、「庄内（しょうない）」には島田（しまだ）・野田（のだ）・三屋（さんや）・牛立（うしたて）・菰江（こもえ）・島江（しまえ）・洲到止（すどし）・庄本（しょうもと）一帯を含んでいる。

目次

はじめに……Ⅰ
例言……Ⅱ
とよなかの環境……Ⅲ
目次……Ⅳ

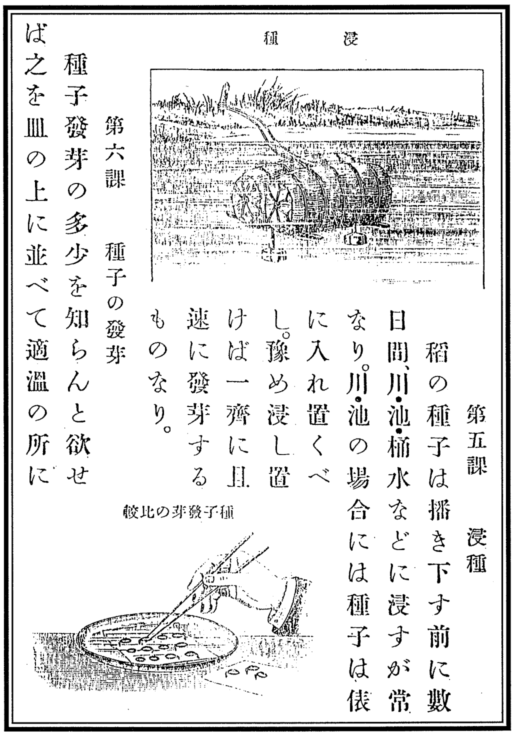
絵で見る農業と一年のくらし……1

米作りの一年 ― 上新田の場合 ―……2
屏風絵の中の農作業……6
　農耕図屏風について（8）

田の仕事と道具……21

たがやす……22
　すき／ふろぐわ／きぐわ・つちたたき／かなぐわ／じょれん／びっちゅうぐわ／からすき／まぐわ／ならしいた／くびき・くら・しりかせ／はなぎ・うしのくつ／かいばおけ・おしぎり／くまで
そだてる……46
　なえかご／たうえものさし／たうえわく／たうえなわ／はねつるべ／ふみぐるま／とい／がんづめ／たかき／かいてんじょそうき／こえおけ／たんご・にないおけ／こえびしゃく
しゅうかくする……70
　かま／いねかりき／たぶね／たこつち／せんばこき／かいてんだっこくき／もみかき／むしろ／み／たるみ／せんぷうき／とうみ／とおし・ふるい／せんごくどおし／どうす／からうす／とます・とかき／じょうご／たわらあみき／たわらしめき／さし
藁の利用……99
　よこづち／なわないき／わらじあみだい／ふご／みの

かいせつ
　牛の仕事（45）／雨乞い・虫よけ（56）／肥料の工夫（69）
米作りの風景　田起こし・代かき（34）／田植え（48）



第五課　浸種

稲の種子は播き下す前に數日間、川・池・桶水などに浸すが常なり。川・池の場合には種子は俵に入れ置くべし。豫め浸し置けば一齊に且速に發芽するものなり。

第六課　種子の發芽

種子發芽の多少を知らんと欲せば之を皿の上に並べて適溫の所に

鋤鍬等あり。

牛馬の力を借りて地を起すには犂を用ふ。犂には

／潅漑（52）／除草（57）／刈り取り・乾燥（74）／脱穀・選別（76）

畑の仕事と道具……103

麦・野菜・果物……104
とうぐわ・とんが／またぐわ／げんごべえからすき／くれわり・つちくだき／さいどき／たにあげき／りょうびき・にちょうがけ／すじひき／かなざらえ／すじきり／あなつきぼう／がり・くまで／くさけずり・まんのう／からさお／むぎうちだい／むぎすりき

生糸と木綿……126
かいこだな・かいこかご／わたくりき／つむぎぐるま／かせぐるま／いとまきぐるま

畑作業の風景　畝作りと管理（109）／麦の脱穀（121）

竹林の仕事と道具……129

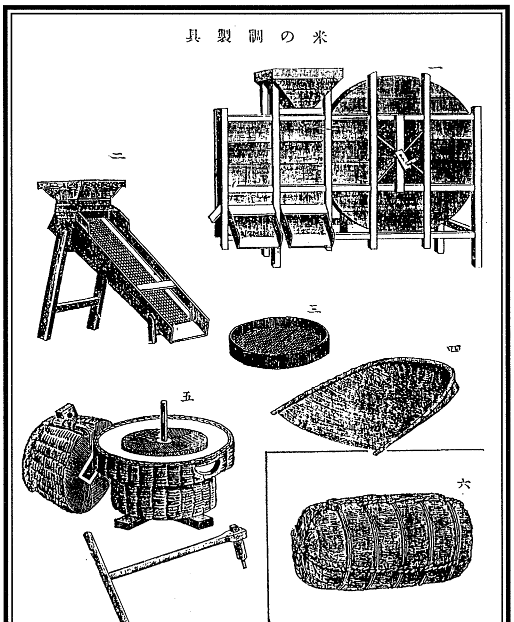
竹林の世話……130
たけのこほり・トンガ／ねきり／とうぐわ／かご

運ぶための道具……136
かご／てんびんぼう／にぐるま

論考……139

豊中の農具（概説）　近藤雅樹……140
回転除草器の構造と機能　水口千里……146
豊中の筍掘り具　—周辺地域との比較—　吉田晶子……152
豊中の千歯扱　中村ひさ子……158

参考文献……164
掲載資料目録……巻末*1*〜*12*
協力者一覧……177



し、芒を去り、篩・萬石簁・颺扇等にてよく調製すべし。實を打ち落すに穀打臺を用ふることあり。

第十四課　豌豆

豌豆は子實を未熟なる莢の儘、若しくは成熟せる後之を收めて食用に供す。子實は味噌又は菓子の原料にも供す。品種多く、花の色、莢の硬軟、蔓の有無によりて白花・紫花・軟莢・硬莢・蔓性・矮性等の

＊目次に使用した図版は『小學農業書乙種』（大正二年発行）から引用しました